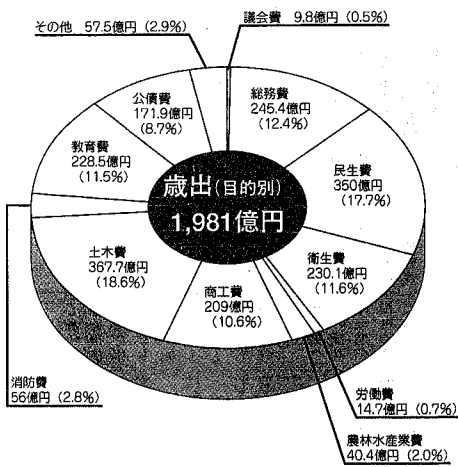
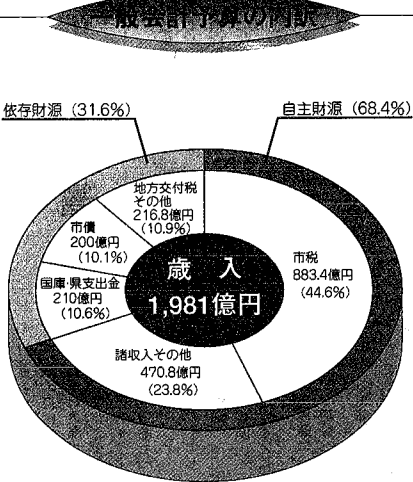




### 9年度予算案

## 中核市2年目として着実に 福祉・環境・文化に重点



一般会計	1,981億円
国民健康保険事業会計	259億1,079万円
土地地区画整理事業会計	3億6,183万円
下水道事業会計	430億5,135万円
中央卸売市場事業会計	3億9,400万円
と畜場事業会計	3億1,478万円
土地取得事業会計	14億3,525万円
老人保健事業会計	421億6,732万円
工業用地開発事業会計	4億3,686万円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	9,961万円
病院事業会計	172億3,146万円
水道事業会計	146億646万円
合計	3,441億975万円

(千円以下切り捨て)

市では、現在開会中の三月定例会市議会に平成九年度一般会計予算と九特別会計、病院、水道事業会計予算など四十一議案を提案しています。当初予算は、一般会計予算の総額が千九百八十一億円で、本年度当初予算に比べて四・五%増となります。九年度は、中核市として実質的に初めて四・五%増の年であり、「環境・福祉分野などで先進的取り組み」「中核拠点都市にふさわしい都市機能の集積」「文化振興などを含む風格あるまちづくり」の三点を柱に福祉、文化、環境、そして防災の施策に重点をおいた内容となっています。(平成九年度予算案は、三月定例会市議会で現在審議中です)

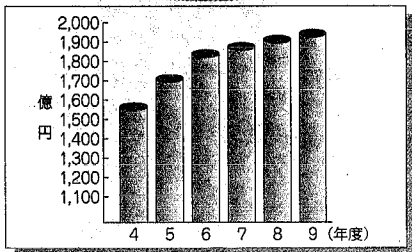
### 紙面紹介

2・3面

4つの都市像ごとの  
予算概要

4面

計画・建設中の主な  
施設概要



## 新しい新潟の創造に向けて



新潟市長  
長谷川 義明

(写真は3月3日、本会場で  
施政方針を述べる長谷川市長)

平成九年度は、新潟市が中核市の指定を受けて二年目となりますが、予算編成といたしましては、今度が実質的に初めての年となります。私は新潟市が中核市として、また、日本海側の中核拠点都市として、都市機能の一層の充実を図るとともに福祉、文化、環境などの分野において先進的な施策の推進に努め、真に魅力と活力にあふれた風格のあるまちづくりを目指し、たゆまぬ努力を続けたいと考えております。今回の予算編成に当たりましては、依然として厳しい財政状況下ではありますが、市民生活の安定と市民福祉の向上のため、限られた財源の中で工夫を凝らし、事務事業の見直しに努めながら、市民の皆さんの要望に即し、既存の施策を充実させるとともに、新規の施策を盛り込み、着実な中にも積極的な取り組みを心掛けたところであります。また、二〇〇二年ワールドカップサッカーの開催が、新潟市の魅力と世界に向けて発信する良い機会ととらえ、国際都市「新潟」を飛躍させるための各種施策の展開を図っていきたく考えております。私は、今後とも自然豊かで美しい新潟市のこれまで培われてきた文化と歴史を視野に入れ、来るべき世紀へ「新しいにいがたの創造」に向けて、市民参加を進めながら、職員、英知を結集し、誠心誠意、市政の運営に努めて参りたいと考えております。市民の皆さんの変わらぬご支援、ご協力を心からお願いたします。